



伊深っ子

伊深小 学校だより R5,6,27

FROM-0 歳プラン2推進校

『明るく笑顔あふれる伊深っ子』

～学び合う 思いやる やりぬく～

明るく笑顔あふれる伊深っ子をめざして

～ 体幹を鍛える教育を ～

「先生と同じスピードで片足ケンケンするんだよ!」

中井先生が岐阜協立大学の河村道彦先生から教わったトレーニング方法の一つ(片足を90°くらいになるようにもちあげ反対の足でケンケンする運動)を体育の準備運動で取り組みました。子どもたちは、先生のスタート合図で片足ケンケンしながら中井先生のスピードを目で捉えます。しかし、どうしても中井先生の「ゆっくりさ」についていけず、飛び出してしまう子が幾人もいます。「先生と同じ速度で」と何度



も声を掛けられるのですが、片足ケンケンしながらの一步を調節できないのです。

授業をイメージします。自分から進んで学ぶ授業展開は増えてきたものの、先生の指示で課題に取り組む学習スタイルが基本です。学校では、家庭生活と異なり我慢の連続です。

- ・正しい姿勢で椅子に座る
- ・目で黒板や先生の表情を見る
- ・先生や友達の話聞く
- ・鉛筆でノートに書く

・頭で考え自分の思いを自分が生み出す言葉で表記する

等々、様々な学習(我慢)が待ち受けています。これらの学習を支えているのが「体(からだ)」です。

6月2日の河村先生の講座中、スキップをする場面がありました。子どもたちは、先生のお手本を見て真似しようとするのですが、手と足がうまく動かない子もいました。手を意識すると足の動きが狂い、足を意識すると手の動きがぎこちなくなるのです。しかし、モデルをみながら体を動かそうとする行為そのものが「小学生時代にしかできない体幹を整えるため」の運動なのです

学校だより6月号に^{そつたくどうじ}啐啄同時を紹介しました。啐啄同時とは、「鳥の雛が卵から出ようと鳴く声と母鳥が外から殻をつつくのが同時である」という意から、「またとない好機のこと。また、学ぼうとする者と教え導く者の息が合って、相通じること。」を意味します。体幹を整えるために、モデルに合わせながら体の機能を高める運動は、お手本のようにになりたい小学生の気持ちとできるようになって欲しいという教師の願いの「啐啄同時」といえるのではないのでしょうか。